

logicool

集中力の価値:

ロジクールのパersonal
ラボレーションでチームの
成功を実現



ハイブリッドワーク環境でのビデオ会議は、メリットも多い反面、IT部門と他の従業員のどちらにとっても気が散りやすいという側面もあります。慣れない機器をリモートでトラブルシューティングしなければならなかったり、導入したい新しいソリューションにツールが対応しているか確認しなければならなかったりなど、ソリューションが標準化されていないとITチームと組織の他の部門が業務に集中できなくなります。そして、集中力はビジネスの成功に欠かせません。集中力は生産性を左右する要素です。また、ストレスの多い導入とシームレスな導入の間でも差がつかます。煩雑な管理と自動化された管理についてもそうです。

ITリーダーは、適切なソリューションを導入することで、集中力を高めることができる絶好のポジションにいます。従業員の集中力を高めるソリューションの導入は、IT部門にもメリットがあります。



アセット管理にかかる時間の短縮

多くの企業では、ITアセットの管理に多くの時間を費やしており、大きなストレスになるとともに、ITチームがより重要な取り組みに集中する機会を奪っています。ビデオ会議戦略の背景にある思考プロセスを再検討することが、チームの集中力を高めるための第一歩としては最適です。ITアセットの取得は、1回限りのプロセスではありません。1回限りで済むと考えると、将来的に問題となる可能性があります。



貴社で導入する新しいデバイスを選択するにあたって製品の仕様やコストは明らかに重要ですが、それは短期的に考慮するチェック項目に過ぎません。製品のライフサイクル全体を通じて、それらのデバイスが提供する体験については、別途情報を得る必要があります。たとえば、その製品は信頼できる業者から入手しやすいですか？ITチームによる導入や拡張は簡単ですか？ソリューションの管理と更新は簡単ですか？簡単にセットアップまたは設置でき、あらゆる会議室で、すっきりした見た目になりますか？

個人用の周辺機器については、従業員それぞれが新しいデバイスをセットアップするのにかかる時間を考えてみてください。従業員が機器をセットアップする際のサポート通話に時間を割く必要がなくなるため、IT部門がどれだけの時間を節約できるかを想像してみてください。これを組織全体に展開すると、ITチームは、貴重な時間を節約することができます。すべて、購入前に導入のシンプルさを優先させるだけで実現します。



シンプルな導入には、次のような特徴があります：

- 信頼できる業者から必要な量の機器を簡単に入手可能
- ソリューションを好きな場所に好きなように設置できる多様な取り付けオプション
- すっきりとした見た目を実現し、導入を容易にする、考え抜かれたケーブル管理を備えたソリューション
- IT部門のサポート負担を軽減する、エンドユーザーが直感的に操作できるパーソナルコラボレーションツール

しかし、すべてのセットアップが完了した後はどうなるのでしょうか？導入が簡単であることはシンプルな管理の信頼できる指標になりえますが、ITチームが新しいソリューションをどのように監視し、管理するかを考慮することが重要です。IT部門の意思決定者の半分以上がチームが「燃え尽きた」または「やる気を失った」と感じていると報告しており、サポートの負担を適切に管理してIT部門が簡単かつ効率的にそれに対処できるようにすることが極めて重要です。

ロジクール Syncのようなソリューションを利用することで、ファームウェア更新の適用から新機能の有効化まで、施設全体の各デバイスの監視や管理をすべて自分のデスクから行うことができます。リアルタイムで注意が必要な問題が自動的にハイライトされ、従業員に影響が及ぶ前に問題を解決できるようになるため、IT部門と従業員、双方の時間を節約することができます。

リモートワークとハイブリッドワーク向けに設計された使いやすいコラボレーションツールを導入することで、トラブルチケットのやり取りを減らせるため、ITチームはより優先度の高いタスクにより多くの時間を割くことができます。

従業員の集中力と独立性のさらなる向上

専用設計のパーソナルコラボレーションツールは、従業員にとっても有用です。9割の企業がITサポートとより優れた機器に対する従業員の需要の高まりを認識しており、ビデオ会議の体験を簡単で快適なものに最適化することで、従業員の幸福度と生産性を向上させることができます。これは、シンプルな体験によって技術的な問題への対処に費やす精神的な負担を最小限に抑え、最も力を発揮できることに集中できるようにすることで生産性を高め、従業員が新しいツールを扱う際に利用するチケットの数の削減によってIT部門の負担を軽減することで実現します。従業員が自信を持って、ビデオ会議を快適に行うことができ、職場の幸福度が結果的に改善されます。





しかし、生産性の向上だけが目的ではありません。今ではスタッフが100%オフィスにいるわけではなく、多くの人がさまざまな場所からリモートで仕事をしている中で、どこでどのように仕事をしているかに関係なく、全員が最高の状態で参加できるような公平な会議を実現するのは難しいことです。参加者それぞれの状況が異なる場合には特にそうです。機器やソフトウェアの互換性がない、使い慣れないツールのトラブルシューティングを電話で行うなど、機器の多様化により、ソリューションの管理もさらに複雑になってきています。幸い、これを回避する簡単な方法があります。主要なパーソナルコラボレーションツール一式を厳選することで、従業員を平等な立場に置き、従業員固有のニーズに対応するとともに、IT部門がビジネスツールをより簡単に管理できるようになります。

必要なのは従業員全員それぞれに有用性があるものが含まれた、相性のよい、あらかじめ厳選したさまざまなソリューションを提供することです。例えば、外出が多いスタッフはワイヤレスヘッドセットを高く評価しますが、デスクで働くスタッフは有線ヘッドセットを好む場合があります。多様な従業員のニーズに合致し、導入や管理が容易なソリューションを見つけたら、厳選した選択肢から従業員にデバイスを選んでもらうことができます。

設定をパーソナライズし、簡単にデバイスを更新できれば、ビデオ会議機器を次のレベルに引き上げることができ、従業員は自主的にデバイスを管理する方法がシンプルになり、ITチームの手間が1つ減ります。そこで、Logi Tuneの出番です。この使いやすいツールは、画角、鮮明さ、色設定の調整から、デバイス更新の適用まで、ウェブカメラとヘッドセットを従業員のニーズに合わせて最適化することができます。それによって、IT部門の関与が不要になり、従業員は、次の大きな会議でも常に最新の機能を利用できます。その結果、従業員は素早く会議を開始でき、時間を節約して、終始スムーズなビデオ通話を行うことができます。



互いに上手く連携し、管理が容易である 必要があります。

パーソナルコラボレーションキットを構成するソリューションは、それぞれが連携して作動し、管理しやすいことが重要です。

- **Brio 4K Proウェブカメラ**, ビデオ通話が頻繁にあり、ノートPCの内蔵カメラ以上の性能が必要な方向け
- **Zone Wirelessヘッドセット**, コラボレーション中に動き回れることを重視する方向け。騒がしい職場でも気が散らないアクティブノイズキャンセリング機能搭載
- **Zone Wiredヘッドセット**, デスクで過ごす時間が長く、信頼性が高く明瞭な通話が可能なプラグ&プレイ対応の製品を求める方向け





- Zone True Wireless イヤホン, オフィス、自宅、出張先といったさまざまな場所で時間を使い分け、デバイスをシームレスに切り替えて会議に参加する必要がある方向け
- Zone True Wired arbuds, 仕事でもモバイル性を必要とし、あらゆるデバイスに接続できることを重視する方向け
- Logi Dock, ホームオフィスの環境をシンプルにし、デスクトップをすっきりと整頓させたい方向け

最前線の集中力

あらゆるビジネスは、つながり、働き、成長するために集中力が必要です。

数多くのパーソナルコラボレーションの環境を管理する複雑さによって、IT部門も従業員も集中力を削がれることがあります。しかし、適切なソリューションを導入することで、これを軽減し、チームは最高のパフォーマンスを引き出しやすくなり、技術的な問題に悩まされることなくより深いレベルでつながることができます。

チームのパーソナルコラボレーションのレベルを引き上げる準備はできていますか？

[ここから開始してください。](#)

logitech®

購入前のお問い合わせ：

株式会社ロジクール

<https://www.logicool.co.jp/ja-jp/video-collaboration/help/contact-sales.html>

購入後のお問い合わせ：

株式会社ロジクール カスタマーリレーションセンター

<https://prosupport.logi.com/>



© 2022 Logitech, Logicool. All rights reserved.株式会社ロジクールは、Logitech Groupの日本地域担当の日本法人です。記載されている会社名・製品名は、各社の商標または登録商標です。その他の商標はすべて、それぞれの所有者の財産です。ロジクールは、この出版物に存在する可能性のある誤記に対して一切責任を負うことはありません。本書に含まれる製品、価格設定および機能情報は、予告なく変更される場合があります。